

厚生労働省、消毒液の代わりにアルコール高濃度の酒使用認める、酒造メーカーが 続々と参入

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために必要なアルコール消毒液は、供給が追いつかず、各地の医療機関や高齢者施設から対策を求める声が出ています。これを受けて厚生労働省は、やむをえない場合にかぎり、酒造メーカーがつくるアルコール濃度が高い酒を消毒液の代わりとして使用することを特例として認めることを決め、全国の医療機関などに通知しました。

具体的には、アルコール濃度が70%から83%の酒を対象とし、これより濃度が高い酒は、殺菌効果が落ちるため薄めて使うよう求めています。

この濃度に該当する酒はウォッカなどで、酒造メーカーでは、消毒液の代わりとして使用することを想定した製品の製造も始まっているということです。

4月9日には菊水酒造が77度の「アルコール77」を発売するなど、少なくとも4社が販売に向けて動き出している。

富山県砺波市の若鶴酒造は4月6日、高濃度エタノール製品「砺波野（となみの）スピリット 77%」の製造を開始したと発表した。1本が300ml、週約1,000本の製造量。4月13日に医療機関を優先的に販売しているが、即完売した。

請福酒造4月10日、泡盛を用いてアルコール度数77%の泡盛を生産することを発表した。1本が600ml、2500円（税込み）。一日の生産量に制限があるため八重山諸島内の供給を想定しており、当面は当社での直接販売を行う。



菊水酒造「アルコール77」

アルコール分：77度

内容量：500 ml

価格1200円（税込1320円）



若鶴酒造「砺波野スピリット 77%」

アルコール分：77度

内容量：300 ml

価格880円（税込968円）



SEIFUKU 77

ISHIGAKI OKINAWA

77

製造者 請福酒造有限公司
沖縄県石垣市宮良959
TEL 0120-14-3166
FAX 0120-14-3166
4 989992 121010
アルコール度数が低いので、引火する危険性があります。火気の
近くでの使用はしないでください。冷暗所に保管してください。
※お酒は適量を、※ストップ飲酒運転。※妊娠中・授乳期の飲酒は20歳以上の
成人にのみ許可されています。

『請福 77』

アルコール分：77 度

内容量：600 ml

価格 2,273 円（税込 2,500 円）

文 JST 客観日本編集部